

健食流通新聞

発行所
ニューマガジン社

健康食品業界の
流通をネット
する。

【大阪】 〒530-0047
大阪市北区西天満3-5-4アカシアビル
電 話 06-6365-8024
FAX 06-6365-6306
発行人 斎藤憲治
郵便振替口座 00960-2-72554
<http://www.newmagazine.jp>

アガリクス2製品に安全宣言

市場は沈静化模様

企業独自で試験の動きも

現在、「仙生露顆粒ゴールド」を販売しているS・S・Iでは3月10日から大阪で開催された「第2回関西健康産業フェア」にもアガリクスを出品し「直接消費者と接して正しい情報を提供していきたい」(同社広報部)と語っていたが、今回の厚生労働省の発表によってこうした動きもさらに弾みがつきそうだ。

厚生労働省が発表

厚生労働省は3月20日、発がん性試験を継続中だった2製品「仙生露顆粒ゴールド」(販売者IIサンドリー、現在はS・S・I)及び「アガリクスK2 ABPC細粒」(同IIサンヘルズ)について、国立医薬品食品衛生研究所での試験の結果、発がん促進作用は認められなかったとの発表を行った。一方、試験対象となった3製品のうち、2月13日に発がん促進作用が認められ同省が摂取を控えるよう注意喚起している「キリン細胞壁破碎アガリクス顆粒」(同IIキリンウェルフーズ)については、その原因を究明するため追加試験を実施することとしている。

今回3製品が対象となった毒性試験は「遺伝毒性試験」および「中期多臓器発ガン性試験」の2種類で、遺伝毒性試験については、復帰突然変異試験、染色体異常試験、小核試験の3項目について行われた。

この結果、継続試験を実施していた2製品については遺伝毒性、発がん性試験ともすべての項目で安全性が確認された。

なお、すでに販売が中止されている「キリン細胞壁破碎アガリクス顆粒」については、発がん性試験とともに遺伝毒性試験についても2項目で異常が認められていた。

キリンウェルフーズでは、先月の2月13日以来、同社で販売するすべてのアガリクス商品の販売を中止しており、独自に製品の安全性調査に取り組んでいる。特に原因成分の特定については、マッシュルームやアガリクスなどのキノコに含まれるアガリチンを詳しく調査する予定。

安全性が確認された2製品はすでに2月13日の時点で同毒性試験では陰性だったことからホームページや取引先への文書などで安全性への自信を示していたが、さらに厚生労働省が安全性を確認したことによってこれまで以上に積極的に販促活動に取り組んでいきたいとしている。